資料1-1

基本計画の検討フレーム・モデル地域での検討プロセスについて(案)

基本計画の検討フレーム(案)

1.論点・与件の整理

(1)全市的な整理が必要な論点の整理

- 支援教育の方向性
- 地域の防災機能
- 小中一貫校の方向性
- 小規模特認校の方向性

など

(2)与件の整理

- →検討地域割りの設定
- 分散進学の解消
- 学区と自治会区域との整合
- 施設の老朽状況
- 校地の災害リスク

など

(3)合意形成プロセス(仮)の設定・モデル地域の選定

- 検討体制、スキーム等
- 検討地域割りを踏まえ、モ デル地域の選定

2.モデル地域での検討

→次ページ参照

・ 検討経過・結果を委員会で 共有の上、合意形成プロセ スの検証・見直しを行い、基 本計画に反映



3.配置案の検討

- 与件に基づきまとめた地域 別の配置案(1地域あたり2 ~3案)を提示
- 論点・与件と照らし合わせて 市域全体、市の教育施策全 体との整合や課題等を確認、 精査
- ・ モデル地域での検討経過・ 結果を踏まえ、地域ごとに 想定される課題や検討材料 (他の施設との複合化など) について検討

基本計画(案)

- 全市的に整理が必要な論点 の方向性
- 配置案作成にあたっての与 件の整理
- 検討地域割りの考え方
- 地域別の配置案(1地域あたり2~3案)
- 合意形成プロセス
- 今後のスケジュール



地域ごとに検討体制を構築し、地域別の配置案をもとに した検討・合意形成プロセス を進める

→一定の方向性が定まった 地域から、整備等を含めた詳 細協議に入る。

モデル地域での検討プロセス(案)

<想定される参加者>

教職員、 保護者(入学予定の方含む)、学校運営協議会委員、地域関係者対象校の学校協力者、児童・生徒 など

1.現状と課題の共有

- 対象校の児童生徒数の推 移・推計
- 教職員の配置状況
- 教育活動(部活動含む)の実施状況
- 学区・通学路の状況
- 建物・校地の状況
- 対象地域の状況 (人口推計、都市計画、交通、 公共施設の設置状況、など)
- 地域と学校の連携状況(特 色ある教育活動、学校の地 域利用の状況など)

2.学校配置について

学校配置の将来像(複数案) の比較検討・協議

- 各案の良い点、気になる点 などの整理
- 気になる点の解決策
- 学区変更、通学距離・時間の 変更への対応策(安全対策 など)
- 学校と地域との連携方策 (地域開放、管理運営のあり 方など)

3.方向性の整理

• 2を踏まえ、学校配置の将来 像や今後の検討の方向性等 について整理、取りまとめ



<まとめる内容(案)>

- 目指す学校の姿、コンセプト (大切にしたいこと)
- 目指す学校の姿を実現するのに望ましい学校配置の将来像 (おすすめ案をしぼる(1つにし ぼれなくてもOK))
- 今後に向けた課題、留意点

<想定される手法>

○インプット、意見交換

- 例① 地域の地図上に通学路の状況 (危険箇所など)を書き出す
- 例② テーマ別の意見交換により、 多様な視点・意見を共有

○グループワーク

- 例① 案ごとに良い点・気になる点を 書き出す(学校規模や距離、立 地などの視点を提示)
- 例② 新しい学校に、自分だったらど んな風に関わりたいか

○全体ワーク

- 例① 全グループの意見を整理 (グルーピングなど)
- 例② どんな学校を目指したいか、 何を大切にしたいかを整理